

暫定用地にクローバーの種を播きました

- ・9月15日(土)に(仮称)東京外国語大学記念施設用地で、小石拾いと、クローバーの種まきを行いました。
暑い中、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

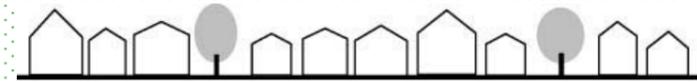


10月9日現在、用地全体に芽が出てきました。



西ヶ原まちづくり協議会ニュース

第13号 平成19年10月発行
発行：西ヶ原まちづくり協議会



第12回まちづくり協議会 開催のご案内

日付：平成19年10月30日(火曜日)

時間：午後7時00分～午後9時00分頃まで

場所：滝野川東ふれあい館 3階ABホール

[報告]

外語大跡地の住宅棟について

・9月28日、30日の説明会の状況報告

[議題]

西ヶ原の防災シミュレーション

・地震がきたらどうしますか？

[その他]



事務局：北区役所まちづくり部 まちづくり推進課

TEL:03-3908-9154 FAX:03-3908-2244

第11回まちづくり協議会の主なご意見

○西ヶ原地区の防災訓練について

- ・防災訓練は、役員さんなどの参加は多いが、それ以外の参加が少なく、偏っている感じがした。
- ・自治会だけでなく、地域の団体も一緒に参加していただき、訓練を実施することが重要だと感じた。また、近隣の自治会同士のつながりもあればよいと思う。

○地域振興室について

- ・災害時には地域振興室に、管内の自主防災組織により構成される「地区防災会議」が、地区本部を開設する。各自治会の被害状況などの情報を収集しながら、災害情報を区へ提供し、区からの指導や調整なども行っていく機能を持つ。
- ・情報伝達の手段は、ライフラインの寸断を想定し、地域防災無線とは違った形で、区の内部や行政機関などと、全て無線で行える体制を組んでいる。その他、地域防災計画に基づき、定期的に訓練も実施している。
- ・地域振興室は、地域にとって非常に役に立つ組織で、防災まちづくりに関しても重要な役割を担っていると感じたので、もっと知られるようにして頂きたい。

○西ヶ原小学校について

- ・避難所は、自主防災組織によって運営されるということを最近知った。自主防災組織と学校が協力していかないと、避難所の運営は難しいのではないかと。
- ・体育館は現在補強工事をしているので、震災が起こったら体育館はなくなってしまうことも想定されるのでは。



防災・防犯ハンドブック



北区防災地図

○西ヶ原地区の防災について

- ・防災地図に、災害時には、まず一次避難地である学校に避難し、そこから避難場所、例えば染井墓地や飛鳥山公園に避難するとあるが、多くの方が知らないのでは。
- ・避難所運営には、各自治会同士のすり合わせが必要。行政とも連携を確認していく必要がある。
- ・地域で被害の差が出ると思うので、自治会同士の連携を作り、被害の大きい自治会を手伝いに行くなど、助け合えるようにしておきたい。
- ・南谷戸自治会の防災訓練も、やはり役員・高齢者が多かった。災害時には、家族や家を守るのが精一杯で、地域のことはその後になる。地域振興室を中心に、各自治会の防災担当を組織化するのは良いことだと思う。
- ・西谷戸自治会の防災訓練は、「なるべくまとまって、安全な道を通って訓練に来てください」と事前に知らせて実施し、集まってから人数報告もした。
- ・能登半島沖地震の時には、1つの集落において3時間で安否の確認ができ、死者が少なく済んだということがあった。どこに誰が住んでいるか、把握できていたということがその理由だ。日頃から人とのつながりを作ることは非常に大切だ。
- ・災害時には、自宅から3軒両隣をしっかりと把握しておく必要があると思う。
- ・地域で作成している、「なまずだより」にはいつも感心している。紙面に自治会ごとの防災情報も加えられないか。
- ・滝野川一丁目に住んでいるが、木造家屋が多く、高齢化も著しい。いつ地震が起こっても不思議でないので、我々はもっと防災に興味を持つべき。区の耐震改修助成も知らない方が多いようなので、大いに啓蒙して頂きたい。
- ・南谷戸自治会では、火事には初期消火が大切だということで、消防署立会いで煙探知機の設置を行い、希望者に安く提供している。
- ・火事で延焼すると自分の家だけでは済まないのでは、煙探知機の設置は有効だ。
- ・自主防災は、地域の中で非常に重要な役割を担っているのでは、是非自治会の防災担当の方は、協議会にご参加いただきたい。